



謝謝！

島田市とシンガポールの交流



かり練習して結果を残した。島田のおもてなしも大変温かく、うれしく思う」と感謝の言葉を述べました。

また川根中学校を訪問し、一緒に給食を食べたり、卓球を披露したりして交流。生徒たちは、勉強してきた英語が通じるとうれしそうな表情を浮かべていました。

遣などを通じて、市民レベルの交流を図りたい。しまだ大井川マラソンにも、海外から参加してもらえるよう、積極的にPRしていく」とあります。

キャンプは計17人。選手たちは、ローズアリーナで練習するだけでなく、小・中学生、高校生への技術指導なども行いました。ユ・モンユ選手は「世界レベルの練習環境を用意してもらったので、しっかり練習して結果を残したい。島田のおもてなしも大変温かく、うれしく思う」と感謝の言葉述べました。

市は、東京五輪開催決定直後から、シンガポール代表卓球チームの合宿誘致を進めてきました。同チームは、リオ五輪卓球団体戦で日本代表とメダルを争った強豪。昨年6月に、事前キャンプに関する覚書を締結し、今回が初めての合宿となりました。

6月16日～30日に、シンガポール代表卓球女子チームの第1回オリンピック事前合宿が市内で行われ、市民との交流を深めました。

シンガポールマラソンとし
まだ大井川マラソンが、姉妹
レース協定を締結しました。
しまだ大井川マラソン実行



シンガポールマラソン運営会 社のベラード氏と染谷市長



- ①川根中での歓迎会
- ②小・中学生、高校生との交流試合 ③レストランで流しそうめんに大はしゃぎ ④川根中の生徒と給食を試食 ⑤ユ・モンユ選手にサインをもらう生徒